

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【たちばな小学校】

<第4学年：年をとるってどんなこと？・障がいをさぐろう>

高齢者や障がいのある方とのやり取りや調べ学習を通して、年をとれば何らかの不自由さを抱えることに気づき、自分自身のこととして障がいを捉え直す場となった。松山市社会福祉協議会の協力を得て、高齢者の身体の疑似体験や、車椅子・ガイドヘルプ・手話等の体験を行った。また、トライアスロン協会の協力のもと、世界のパラスポーツの状況を知ったり、パラスポーツ体験を行ったりしたことで、障がいは、社会の仕組みやルールの工夫で無くしていけることにも気付くことができた。

今後は、日々の生活や町の中で見過ごされている障がいに気を付けるように、校区を探検していきたい。



<委員会：栽培活動>

栽培委員会では、常時活動として、毎朝の水やりを輪番で行った。児童は、熱心に水やりを行ったり成長を見守ったりしながら愛着をもって世話をした。また、委員会活動の時間には学習園を耕したり、草抜きをしたりした。

春に植えたマリーゴールドについては、秋に種を回収し、翌年に植えられるようにした。秋に植えた菜の花も春には種を回収し、翌年に植えられるようにしている。チューリップの球根も枯れた後に掘り起こし、翌年に植えている。このように、苗を植えるだけでなく、花の世話や種の回収、再利用を徹底している。継続した栽培活動を通して、草花への興味関心を高めることができた。

